

J D T F 電子帳簿保存法解説セミナー

事例紹介：ファイルサーバで実現！電帳法対応

 **FileBlog** 文書共有・検索・管理

株式会社鉄飛テクノロジー

エンタープライズ検索エンジン・文書管理システムを開発・販売しています



- | | |
|-----------------|--|
| 概要 | 株式会社鉄飛テクノロジー 代表取締役 岡田 国一 |
| 沿革 | 2000年7月07日 設立（東京都目黒区） 2007年7月19日 FileBlog Ver.1.0をリリース 2023年1月25日 FileBlog Ver.5.0をリリース 2023年3月06日 神奈川県（新横浜）へ本社を移転 |
| FileBlog | ファイルサーバ検索エンジンから発展した文書管理システム <ul style="list-style-type: none">● ファイルサーバ向けエンタープライズ検索エンジンとして誕生● ファイルサーバ文書の共有（スマートフォン・タブレット向け）● 文書管理システム（ファイルの属性管理、ファイルのバージョン管理）● 「PDFタイムスタンプオプション」（タイムスタンプサービス連携）によりJIIMA認証（電帳法スキャナ保存ソフト法的要件認証）取得 |
| ユーザ特性 | <ul style="list-style-type: none">● Windowsファイルサーバで、大量文書の長期保存を行うユーザ● 自社内でのシステム運用・データ維持を選択するユーザ● 比較的小規模でコストに敏感（特に電帳法対応のケースではWindowsファイルサーバにFileBlogをインストールして利用する最小構成が多い） |

日常業務（書類作成・受取）

登録フォルダにファイルを保存します

- ✓ スキャナ・FAXから取込
- ✓ メール受信したファイル
- ✓ 現場担当者に作業委任可



締処理（アーカイブ実行）

定期的にアーカイブを行います

アーカイブを実行



- ✓ PDFファイルにタイムスタンプを付与（存在証明と非改ざん証明が実現）
- ✓ アーカイブ済のファイルは読み取り専用になる
- ✓ スキャナ保存要件における変更・削除できないストレージに相当

監査・税務調査

高速に検索・閲覧が可能です

アーカイブフォルダ



- ✓ 書類は日付範囲・金額範囲・取引先で検索できる
- ✓ タグに各種書類ID（案件番号・受注番号・見積番号・支払管理番号など）を付与すれば書類IDによる検索もできます

FileBlogタイムスタンプ連携の導入は十数例の実績があります（小規模～300名程度の事業規模）

S株式会社（貿易商社・80名）

多拠点・多通貨に対応できるシステムは、なかなかなかった

- 要件
 - ✓ 取引先・取引年月日・取引金額で書類検索できるように
 - ✓ なるべく安価に構築・運用したいが、多通貨対応必須
 - ✓ 2ヶ月ほどトライアル使用して運用設計
- 実現ポイント
 - ・ 「通貨種類」「金額（小数点あり）」の登録項目を定義

株式会社K（ユニフォームおよび作業用品の企画・製造・販売、160名）

文書管理システム（営業・製造部門）更新とあわせて対応

- 要件
 - ✓ 既存文書管理システム（製品終売）のリプレイスと合わせてファイルサーバによる電帳法対応を検討
 - ✓ 属性管理・検索機能の強化
 - ✓ 2ヶ月ほどトライアル使用して運用設計
- 実現ポイント
 - ・ 従来システムからデータ移行できた
 - ・ 文書管理/検索の強化と電帳法対応を同時実現

任意のファイル形式におけるPDFタイムスタンプ付与（上記2社共通）

- ✓ 電子取引で受領するデータは、タイムスタンプ付与が可能なPDFとは限らない（CSV・規格外PDFなども存在）
- ✓ 台紙PDFに任意ファイルを自動添付してからタイムスタンプ付与することで対応した

▶ 運用コストが安かった（ユーザアンケート：80%）

大容量・長期保管が前提だと期間で従量課金されない**ファイルサーバ**が有利

- ✓ とくに長期的に資産運用・設備投資を行うユーザの場合
- ✓ ソフト・ハードの世代交代を経てもトータルコストが読みやすい

S社（不動産業・200名）

- 紙運用を廃止して電子データ運用に切替
- 当初からオンプレ製品を検討

A社（機械設計・70名・既存ユーザ）

- 既存環境にタイムスタンプ連携機能を追加して導入運用コストを抑制
- FileBlog 1つで従来のファイル管理(CAD等)と電帳法対応を実現

L社（製造業[機械]・30名）

- ワークフローシステムとの連携を模索したが、コスト高で断念してファイルサーバ(+Fileblog)を採用
- 経理照査の属性項目を定義して、「済」タグを条件にタイムスタンプ付与
- 知的所有権保護の目的にもタイムスタンプを活用

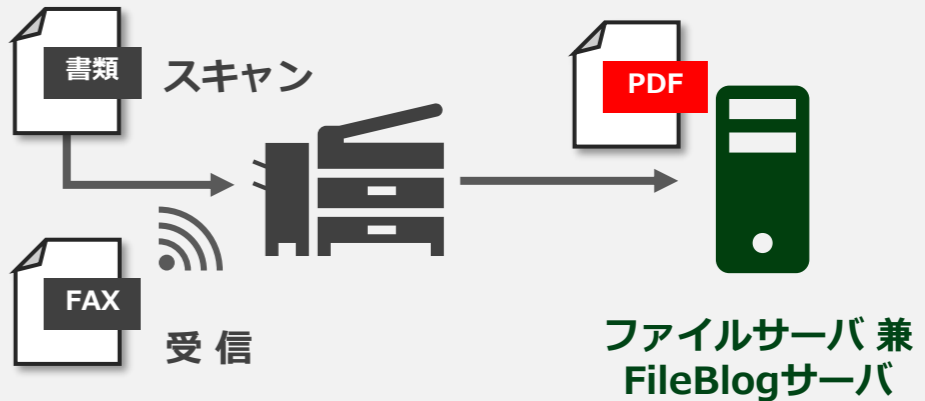
より小規模な事業所の傾向として

書類の役割分離が不十分であると（見積依頼FAXや発注書の添付資料が、仕様書・製造指示書に流用されるなど）保存期間が長くなったり（国税関係書類の法定保存期間より）、保存目的が多義的になる傾向がある。

▶ 既存の社内システムとの連携が容易であった（40%）

中小企業では、基幹システムやパッケージシステム間のシステム間連携のために大きな開発費をかけられないのが実情。
 （ファイルサーバへのエクスポートは標準でサポートされる貴重なAPI）

- 基幹システムによる帳票出力が、**ファイルサーバ**に対して行われていた
- 複合機から**ファイルサーバ**への自動保存の運用が既にあり、ファイル登録の手間が省けた
 - ✓ 受信FAX・送信FAX控
 - ✓ スキャナ読取り



M社（製造業[機械]・350名・既存ユーザ）

システム間連携によって取引データ入力を省略

- 基幹システムから出力される請求書控えPDFを保管（証拠能力を考慮してタイムスタンプ付与）
- 属性情報のCSV取込 → タイムスタンプ付与 → アーカイブ保存の処理をバッチプログラムにより自動化
- 全国の拠点からユーザがFileBlogに接続して検索/閲覧



検索要件充足のための
 （取引先名・取引日・金額の）
データ入力 負荷増大
 の回避方法（1）

▶業務フローにあったシステムの選定に時間がかかった（60%）

複数製品/サービスの運用比較（トライアル）を行った

- ✓ 多方面から集まる関係書類を、自由なフォルダ階層で分類し、任意のタイミングでまとめて処理できる点が評価された

T社（建設業・200名）

現場への権限移譲によって入力負荷を分散

- 全国の拠点（現場）から**ファイルサーバ**（拠点別の登録フォルダ）に証憑PDFをアップロード
（紙のワークフローからペーパーレス化）
- 現場担当者が属性情報を登録
- 経理部門が最終チェックしてタイムスタンプ付与してアーカイブ保存



検索要件充足のための
（取引先名・取引日・金額の）
データ入力 負荷増大
の回避方法（2）

▶法解釈が難しかった（80%）

- 電子取引区分（必須） と スキャナ保存区分（任意） の要件を混同
- オンプレ製品で運用できるのか（運用してよいのか）？
 - ✓ 社内にシステム管理者がいる **ファイルサーバ** を「物理的に削除できないストレージ」として、スキャナ保存の「訂正・削除履歴」要件を満たすとみなせるか？
 - ✓ IT管理部門と経理部門の権限分離・役割分担のうえ、アーカイブ実行時のみ書き込みできるシステムにより運用可能
- 検索要件は1システムで充足しなければならないのか？
 - ✓ 文書管理機能を備えた会計システム（帳簿システム） → 新しいシステムへの乗換にはリスクあり
 - ✓ 検索機能を備えた文書管理システム → 検索キー項目（日付・金額・取引先）の入力作業負荷が増大
 - ✓ 二段階検索でも運用可能
 - [文書IDで検索できる文書管理システム]+[会計システムの摘要欄に文書IDを記載]

ご不明な点・ご相談がございましたら
お気軽にお問い合わせください



お問い合わせ
sales@teppi.com
045-620-5974



Webサイト
www.teppi.com/